

## ○日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう！～

日本語教師が活躍する分野は多岐に渡ります。それぞれの現場で専門性を発揮し、活躍する日本語教育人材の皆さんに、現場で今取り組んでいることや課題、これまでのキャリアパスなどについて、直接お話を聞ける場を作りました。職業として日本語教育に関わる先輩に、進路の相談や現在の課題について直接聞いてみましょう。



全2回、12セッション（各セッション定員5名）  
第1回：10:00～10:45 第2回：11:00～11:45



### ●先輩スピーカー●

1. 海外で教える（国際交流基金派遣専門家経験者）  
中込 達哉（なかごめ たつや）さん（独立行政法人国際交流基金）
2. 日本語学校で教える  
田中 康予（たなか やすよ）さん（千駄ヶ谷日本語学校）
3. 就労希望者に教える  
手島 利恵（てじま りえ）さん（一般財団法人日本国際協力センター（JICE））
4. 看護・介護職希望者に教える  
野村 愛（のむら あい）さん（首都大学東京）
5. 難民に教える  
宮下 しのぶ（みやした のぶ）さん（公益社団法人日本語国際普及協会（AJALT））
6. 障害のある人に教える  
江副 隆秀（えぞえ たかひで）さん（学校法人江副学園 新宿日本語学校）
7. 夜間中学で教える  
都野 篤（つ の あつし）さん（墨田区立文花中学校夜間学級）
8. 地域日本語教室で教える／教育委員会で生かす  
高柳 なな枝（たかやなぎ ななえ）さん（地球っ子クラブ2000）
9. 地方公共団体に生かす  
東山 正希（ひがしやま まさき）さん（山梨県観光部国際観光交流課）
10. 出版社で生かす  
大橋 由希（おおはし ゆき）さん（株式会社凡人社）
11. メディアで生かす  
宇都 万里（うと まり）さん（NHK NEWS WEB EASY 制作スタッフ）
12. 学会で生かす  
大塚 徹（おおつか とおる）さん（公益社団法人日本語教育学会）



※本セッションは事前予約制です。9月8日（土）大会1日目終了後に会場受付にて事前予約を受け付けます。残席がある場合、9日（日）9:30から会場にて申込みを受け付けます。

## 1. 海外で教える（国際交流基金派遣専門家経験者）

国際交流基金アジアセンター日本語事業第1チーム  
日本語教育専門員  
中込 達哉（なかごめ たつや）



### <プロフィール>

大学卒業後、朝日カルチャーセンターの養成講座（新宿）、続いて、国際交流基金（以下、基金）の海外派遣日本語講師実習講座を受講しました。講座終了後 1987 年にマレーシア・マラヤ大学に赴任したのが私の日本語教師歴のスタートです。その後スコットランド・スターリング大学（教育学修士課程）留学を経て、再び基金派遣でローマ日本文化会館、ロンドン日本文化センター、ケニア・ケニヤッタ大学、フィリピン日本文化センターに赴任し、各国の先生方と協働してきました。国内では、1997 年の関西国際センター設立時から、外交官・公務員研修や大学院生研修等のコース策定・担当をしてきました。2017 年 4 月からは、アジアセンターで「日本語パートナーズ」<https://jfac.jp/partners/>に関わる日本語教育を担当しています。

### <メッセージ>

日本語教師として初めてマラヤ大学に赴任してから、既に 30 年以上が経ちました。その半分は海外で、日本語学習者や教師はもちろん、様々な人々との交流の中で日本語教育に携わったのは、かけがえのない財産です。ご質問に答えつつ、日本語教師としての私のターニングポイントや意識変化等もお話できればと思います。みなさんが描くキャリアパスの、何かの参考やヒントになれば幸いです。

## 2. 日本語学校で教える

千駄ヶ谷日本語学校 専任講師  
田中 康予（たなか やすよ）



### <プロフィール>

大学在学中にインターンでオーストラリアへ。現地で日本語教師ボランティアを経験し、日本語教育に興味を持つ。大学卒業後、千駄ヶ谷日本語教育研究所の養成講座に入学。その後、非常勤講師として勤務。

2013年よりJICA日系社会青年ボランティアに参加し、パラグアイの日系日本語学校、幼稚園で年少者へ日本語を教える。帰国後、2015年から現職。

### <メッセージ>

日本語学校では日本の大学や大学院、専門学校へ進学するために世界各国の学生が日本語を勉強しています。授業中は思いもよらない質問をされることも多く、毎日発見の日々です。日本語教師の仕事は、自分の母語である日本語を教えるだけでなく、それを通して学習者の方からも多くのことを気づかせてもらうことのできるとても刺激的で、やりがいのある仕事だと思っています。

### 3. 就労希望者に教える

一般財団法人 日本国際協力センター（JICE）  
国際協力推進部 主任日本語講師  
手島 利恵（てしま りえ）



#### <プロフィール>

20代後半で日本語教師となり、複数の日本語学校で勤務。30代の初めに、韓国ソウルの人材派遣会社で日本語教育に携わった。帰国後、複数の日本語学校で勤務しながら東京女子大学大学院に進学。修士課程修了後は、日本語学校、早稲田大学日本語教育研究センター、難民のための日本語活動「Villa Education Center」などのほか、「NHK News Web Easy やさしい日本語で書いたニュース」のスタッフとして、ニュースの書き換え業務にも携わった。2015年より現職。

#### <メッセージ>

厚生労働省からの委託事業「外国人就労・定着支援研修」を担当しています。これは、定住外国人を対象とした就労のための日本語研修で、全国17都道府県、年間約250コースの規模で開講されています。人手不足産業や成長産業での人材確保、定住外国人の安定雇用促進を目的としており、その内容として、①職場場面のやりとりで必要となる日本語、②職場におけるルールやマナー、③就職活動のノウハウ、④キャリアプランニングなどを取り入れているのが特徴です。

主任日本語講師は、現場の日本語講師と連携を取りながらコースをコーディネートするほか、カリキュラム作成、教材開発なども行います。また、現場の講師として授業に入り、受講者の様子を見ながら教材やコースの改善に取り組んだりもします。

現在携わっている就労のための研修や、一日本語講師としてのこれまでの経験などをシェアできたら嬉しいです。どうぞお気軽にいらしてください。

### 4. 看護・介護職希望者に教える

首都大学東京 オープンユニバーシティ講師  
野村 愛（のむら あい）



#### <プロフィール>

大学でフィリピン語を専攻し、日本語教育のゼミに所属。大学卒業後、技能実習生、外国人介護人材、留学生等への日本語教育に携わる。2009年からEPA介護福祉士候補者の日本語教育に関わり始める。2011年にEPA介護福祉士候補者を受け入れている社会福祉法人に入職し、外国人介護職員の人材育成を担当。2015年より首都大学東京にて介護の専門日本語講座を担当している。

#### <メッセージ>

2005年に『介護の日本語』というテキスト作成に協力したことをきっかけに、介護分野の日本語教育に興味を抱き、これまでさまざまな立場で、介護分野の日本語教育に携わってきました。現在は、日本の介護施設で就労し、国家試験合格を目指すEPA介護福祉士候補者を対象とした介護の専門日本語講座を担当しています。彼らにとって、どのような日本語教育（学習支援）が必要なのか、日本語教師として何ができるのかなど、日々、問い続けながら実践に臨んでいます。当日は、実践や教材についてご紹介するとともに、実践の場で得られた知見や外国人介護人材の魅力などについてもお話ししたいと思います。

## 5. 難民に教える

公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT） 日本語教師  
宮下 しのぶ（みやした しのぶ）



### <プロフィール>

大学では国語学・国文学を専攻したが、卒業後は商社や業界専門紙という畑違いの分野で働く。その後夫の転勤に伴い、中東、東南アジアで足掛け10年を過ごす。この間に日本語教育に出会い、帰国後、地域の日本語教室活動を経てAJALTに入会。ビジネスパーソンとその家族、難民、実習生、公立小中学校に在籍する外国籍児童への日本語指導等に従事する。2009年から、公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部 RHQ 支援センターの定住支援プログラムに日本語講師として携わり、2013年より主任講師。

### <メッセージ>

新聞やテレビの報道で「難民」ということばを耳にする機会が多くなりました。2017年末までに、世界各地で余儀なく移動を強いられた人々の数は、過去最高の6850万人に上っています。そして日本の各地でも、祖国を離れざるを得なかった難民の方々が日々の生活を送っています。RHQ 支援センターの定住支援プログラムで学ぶ難民との半年は、単に「日本語を教える」だけでなく、彼ら一人一人の思いを知り、それに教えられる日々でもあります。そして、日本で生きていく難民の方々の長い人生は、すぐそばに住む皆さんと共にあるのです。実は身近な「難民」の存在に、目を向けてみませんか。

## 6. 障害のある人に教える

学校法人江副学園新宿日本語学校 校長  
江副 隆秀（えそえ たかひで）



### <プロフィール>

1951年にカトリック系宣教師を対象に日本語教育を開始した両親と1975年に新宿日本語学校を設立し、現在に至っています。その間、株式会社や個人立各種学校の設立を経て、学校法人の日本語学校の設立をいたしました。1975年には日本語教授法などの指導書もなく、一般成人を対象とした教授法を自分で開発せざるを得ない状況で、現在の多くの教授法とは異なる文法観で独自の教授法を編み出さざるを得ませんでした。ただ、その教授法が若手のブラジル日系人に受け、1983年から毎年1ヶ月、国際協力事業団を通して汎米日本語教師合同研修に呼ばれるようになり、1990年12月から1993年3月まで、日本語指導教師として国際協力事業団からサンパウロに派遣されました。そこで、児童対象の可視化した日本語文法教材を作り、帰国後、これを修正したものを発表したところ、TOSS（Teacher's Organization of Skill Sharing〔教育技術法則化運動〕）の向山代表の目に止まり、従来の文法と考え方が違うので、「江副文法」と名付けられました。全国のTOSSの会員が所属する小中学校で実験が行われたり、参加していた特別支援関係の教員から「ろう者の国語教育に使える」と指摘されたりして、現在は全国各地のろう学校などで指導を行なっています。8月には久留米聾学校や佐賀聾学校で研修を行ったところです。

### <メッセージ>

現在指摘されている「科学文法」と「学習と教育の文法」（大津由紀雄 2012）という分類から見ると、後者のタイプに当たります。是非、障害がある人でも学習できる日本語文法の教授法にご興味を持っていただきたいと思います。

## 7. 夜間中学で教える

東京都墨田区文花中学校夜間学級 主任教諭  
都野 篤（つの あつし）



### <プロフィール>

都内中学校夜間日本語学級で、主に中国帰国者、ニューカマー外国籍生徒を対象に、23年間日本語教育に携わってきました。夜間学級とは公立中学校のいわゆる夜間部です。授業は午後5時半から始まります。東京都の夜間学級は都内に8校にしか設置されていませんが、そのうち5校に日本語学級が併設されています。夜間学級には、さまざまな国籍、年齢、就学歴を持つ多様な方々が、義務教育段階の学び直しを求めて訪れてこられます。学習指導要領には日本語という教科はありません。日本語学級は東京都独自の施策として設置されているものです。

### <メッセージ>

日本語教育に対するニーズは、目まぐるしく変化する時代を反映する鏡のような性質があります。私が夜間日本語学級で出会った方々もまさにその時代を映し出す人々であったと同時に、日本語が不自由でかつ義務教育未修了の方々が学び直しを求める際に、日本語教育の切実な必要性を訴える方々でもありました。夜間中学は、義務教育を受ける学習機会を得ること。そして、学び直す際に必要となる日本語の習得が、人が人として尊重され、自由で幸福な生活を営むためにどれだけ重要な役割を果たすのかが顕現され周知させられる場でもあります。平成28年12月「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」が成立、即日施行され、法的な基盤が脆弱だった夜間中学の教育内容も、晴れて担保されることになりました。夜間中学が法的に認められるようになるまでに、70年近い歳月が経過していたことになりました。これからも多くの学びを必要とする人々の学習機会の実現に向けて踏み出していく次第です。

## 8. 地域日本語教室で教える／教育委員会で生かす

地球っ子クラブ2000 代表  
さいたま市教育委員会 日本語指導員  
高柳 なな枝（たかやなぎ ななえ）



### <プロフィール>

大学で日本語教育について学び、卒業と同時に青年海外協力隊に参加。中国で中学生・高校生に第一外国語として日本語を教える。帰国後、子どもへの日本語教育を続けようと、さいたま市教育委員会派遣の日本語指導員となる。公立小学校・中学校に在籍する日本語を母語としない児童生徒への日本語教育に携わる。

その一方で、保護者も巻き込んだ教室が必要との思いから、さいたま市内の公民館で親子の日本語教室「地球っ子クラブ2000」を立ち上げ、活動中。

### <メッセージ>

昨今、日本語教育を必要とする子どもたちが増えています。日本国籍であっても、日本生まれ・日本育ちであっても日本語指導を必要とする子どももいますし、学齢期の途中で移動してくる子どももいます。自分の意思で来日したわけではない子どもたちに、日本語をはじめ教科学習をどのように支援していけばいいか、また、親子で参加する地域日本語教室の可能性についてお話しできればと思います。

## 9. 地方公共団体で生かす

山梨県観光部国際観光交流課 主事  
東山 正希（ひがしやま まさき）



### <プロフィール>

2013年3月 大東文化大学国際関係学部国際関係学科卒業  
2013年7月 JICA 日系社会ボランティア 日系日本語学校教師 ドミニカ共和国派遣  
2015年8月 JICA 青年海外協力隊事務局海外業務第二課 日本語教育職種等担当  
2016年10月 復興庁岩手復興局復興支援専門員 陸前高田市役所防災局防災課配属  
2017年4月 山梨県入庁 観光部国際観光交流課配属（現在2年目）

### <メッセージ>

地方公務員に興味を持ち始めたのは、ドミニカ共和国でボランティアをしていた時のことでした。日本とは異なるインフラ環境や文化・習慣に触れたこと、また、外国人として生活する中で様々なマイノリティ環境を経験したことで、「住みやすい街」「わくわくする街」について考える仕事に就きたいと思うようになりました。現職では、様々な視点から「街」について考えることができ、毎日充実しながら仕事できています。

最近では、多くの外国人の方々が日本を訪れており、「日本語教育」について学んだ経験は、非常に役立っています。例えば、防災関連の業務にあたっていた時には、外国人にわかりやすい標識、逃げ方を考える上で、どのような言い回し・語彙力等が求められるか考えたり、セミナーが行われていたりします。話せば長くなりますが、「日本語教育」の視点が今後の「街」には非常に重要なものであると考えています。今回、この機会を通して皆様が地方公務員に関心をもていただければ幸いです。

## 10. 出版社で生かす

株式会社凡人社 編集部 主任  
大橋 由希（おおはし ゆき）



### <プロフィール>

日本語教育を学びたいと思い、筑波大学日本語・日本文化学類に入学。筑波大学大学院修士課程を修了後、タイ国立タマサート大学日本語学科で講師を務める。帰国後、日本語教師とは違う日本語教育への関わり方も“アリ”かなと考え、日本語教育の専門書店・出版社である凡人社に入社。日本語教育に関わる教材・教師用参考書の編集に携わる。

### <メッセージ>

編集の仕事に携わるようになって、十数年。まだまだ自分の未熟さに落ち込み、反省する毎日です。教材・書籍のニーズやアイデアを実際のカタチにするプロセスは、時に地味で鬱々とし、時に刺激的だったり感動的で、ものづくりならではのおもしろさにあふれています。

専門書店・出版社の仕事は、間接的にはありますが、広く業界を見渡し、多くの学習者・日本語教育者の方々のお手伝いができる仕事です。また、本やコンテンツを媒介に人と人をつなぐ仕事でもあるように思います。編集の仕事から、日本語教育への関わり方の一つをみなさんと考えてみたいと思います。

## 1 1. メディアで生かす

NHK NEWS WEB EASY 制作スタッフ  
宇都 万里（うと まり）



### <プロフィール>

大学で主に社会言語学を学び、会社員を経て、日本語教師になる。国内外の機関で、留学生、ビジネスパーソンとその家族、定住者、技能実習生、JICA 研修員、企業研修生などに日本語を教え てきた。2012 年、やさしい日本語のニュースの公開実験をするため NHK が募集した日本語スタ ャッフに応募、以降日本語教師を続けながら NEWS WEB EASY 制作に携わっている。

### <メッセージ>

日本語教師になって、何事も経験と様々なクラスを担当してきましたが、1つとして同じクラス はなく、それぞれに喜び、悩み、挫折がありました。経験を重ねて身に付いたことは大切な力にな っています。NEWS WEB EASY の作業は教師とは別の能力が求められますが、日本語教師とし ての経験も不可欠です。今までの学習者の顔を思い浮かべながら、同じ国で生活している人たちに 少しでも情報が「伝わる」ようにと取り組んでいます。

## 1 2. 学会で生かす

公益社団法人日本語教育学会 事務局長  
大塚 徹（おおつか とおる）



### <プロフィール>

大学で日本史を専攻していた 3 年生の時に日本語教師になろうと思い、卒業後、学士編入で日本 語学部に入りなおしました。ところが諸事情から方言を専攻することとなり、その後は方言調査に 明け暮れておりました。大学院進学後、日本語教師として教壇に立つ機会をいただき、大学院を休 学してベトナムで 1 年、韓国で 2 年、日本語を教えて参りました。帰国後は大学院に復学すると 同時に、様々なお仕事を経験させていただき、2007 年に社団法人日本語教育学会（当時）の事務 局に入局をさせていただきました。

### <メッセージ>

海外で日本語を教えてみたいと思ってから教壇に立たせていただくまで、随分と長い時間がかか ったように思っております。時には遠回りをしている印象もありました。その後、教える仕事から 事務の仕事にかわり戸惑いもありました。しかしながら、遠回りと思っていたことと現在の業務と がつながる印象を得ることもしばしばありました。そのようなお話も踏まえ、現在の業務について ご紹介できましたらと思っております。